

里山と芸術分科会

テーマ： きっかけとしてのアート
趣 旨

[午前/第1部 ワークショップ]

午前の70分のプログラムは、参加者が4グループ程度に分かれて、竹を利用した楽器づくりと、つくった楽器を使用したグループごとのパフォーマンスを行います。子どもの参加も大歓迎。屋外での活動を基本に考えています。実際にものづくり等を行うことで、自分の自然に触れた体験の思い出や、そういったことの持つ意味や可能性について、楽しく振り返ってみてください。

[午後/第2部 ラウンドテーブル]

午後の100分のプログラムは、里山や自然に関わっていくためのきっかけとしてのアートをテーマにラウンドテーブルを行います。アートや里山についてよく知らないと言う方にも参加して頂きやすいように、身近なテーマをトピックスに設定しますので、気楽にお越し下さい。「里山と芸術」の可能性や課題について話し合い、次の活動につながる目標を絞り込んでいきます。

スケジュール

10:50~12:00 第1部 ワークショップ
コーディネイター 小林 正幸、高橋 小織

12:00~13:00 昼食・交流

13:00~14:30 第2部 ラウンドテーブル
コーディネイター 上島 浩美
ファシリテーター 栗原 裕治

14:40~15:00 休憩

16:30 閉会

メンバー

分科会代表 : 小堀 修司

副分科会代表 : 上島 浩美

記録 : 瀧田強志

実行委員 : 栗原裕治、明石薫、大島賢一
片岡大樹、陰山祐一、小林 正幸、 高橋 小織
大司美智子、山田聖子